

姫路城は、なぜ姫路空襲の被害にあわなかつた？

太平洋戦争時、姫路城は、ほとんど被害を受けておらず、長い間アメリカは歴史的な都市や遺物を空襲の対象からはずしてきた」といわれてきました。一方で、当時のB29の搭乗員アーサー・ドームズ氏は、「姫路空襲は夜間作戦だったため、主としてレーダーに頼った。瀬戸内海から入ったB29は、レーダーが陸を映し出すと爆弾を投下し、海が映れば投下を中止した。レーダーは市街地北部に海か湿地の空間があると捉えており、城域を感知していなかったように思う」と証言しており、姫路城の堀が、レーダーには海か湿地のように映ったため、爆撃を免れたのではないかといわれています。しかし、姫路城の天守から不発弾が見つかっており、その周辺の旧制姫路市立鷺城中学校（現在の姫路市立姫路高等学校。当時は今の千姫ぼたん園付近にありました）などは全焼していることからも、姫路城は奇跡的に空襲からの難を逃れたと考えられます。